令和８年度　　第１学年　　音楽科　シラバス

教科目標

（1）音楽の曲想や構造、多様性を理解する。音楽表現では、創意工夫するために必要な技能を身に付ける。
（2）表現を創意工夫すること、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（3）自ら進んで活動し、他と協力しながら（主体的・協働的に）取り組む。音楽活動の楽しさを体験し音楽文化に親しむ。

評価の観点及び趣旨

①　知識・技能	②　思考・判断・表現	③　主体的に学習に取り組む態度
・音楽の曲想や構造、多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現している。	・音楽の要素やその関連性、働きを感じ取っている。 ・感じ取ったことをどのように表すか、思いや意図をもっている。 ・音楽のよさ、美しさを自分なりに評価しながら味わったり、聴いたりしている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
４	○新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう（校歌・発声）【3】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。 ②音色、旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 実技テスト
５	○思いを込めて明るい声で合唱しよう（We'll Find The Way）【2】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。 ②音色、旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト 授業観察
６	○音楽の特徴から情景を想像しよう （　ヴィヴァルディ「春」）【2】	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ②弦楽器のもつ特性を感じ取り、情景を想像しながら鑑賞する。曲想の変化を感じ取る。 ③曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト ワークシート
７ ９	○曲想やパートの役割を感じ取り、表現を工夫しよう。合唱曲）【１３】	①混声合唱の響きを感じ取り、各パートの役割を理解する。 ②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト ワークシート 授業観察
１０ １１	○詩と音楽とのかかわりを感じとろう 〈　シューベルト「魔王」〉【2】	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ②詩の内容と曲想との関わりを感じ取る。そのよさや美しさを味わって聴いている。 ③曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト ワークシート 授業観察

１２	○日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう（「赤とんぼ」「浜辺の歌」）【2】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。	定期テスト 実技テスト 授業観察
		②歌詞の内容や曲想を感じ取り、情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌う。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
１ ２	○弦楽器の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう。（箏）【7】	①楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。演奏するために必要な奏法、技能を身に付ける。	定期テスト 実技テスト ワークシート 授業観察
		②楽器表現に関わる知識や技能を得たり、生かしたりしながら表現を創意工夫している。	
		③器楽表現を楽しみながら、主体的協働的に取り組もうとしている。	
	○日本の伝統音楽に親しみ、その魅力を味わおう。（雅楽「越天楽」箏曲「六段の調べ」「さくら」）【4】	①音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などについて理解している。演奏に必要な奏法、技能を身に付ける。	定期テスト 授業観察
		②音色、旋律、テクスチュアを知覚し、感じ取り、そのよさや美しさを味わって聴いている。	
		③音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などについて関心を持ちち、主体的に活動に取り組もうとしている。	
	○リズムを組み合わせて表現を工夫しよう。（創作）【2】	①リズムと曲想の関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート
		②音色、リズム、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想とリズムとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
３	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ○卒業式歌 【2】	①　混声合唱の響きを感じ取り、各パートの役割を理解する。	定期テスト 実技テスト ワークシート 授業観察
		②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている	

定期テスト範囲（予定）

１学期期末テスト	２学期中間テスト	２学期期末テスト	学年末テスト
・校歌・発声 ・We'll Find The Way ・ヴィヴァルディ「春」 ・楽典		・合唱曲 ・器楽 ・シューベルト「魔王」 ・日本の歌　・楽典	・楽典 ・雅楽　箏曲　箏 ・リズム創作 ・合唱曲

学習上のアドバイス

授業について
　①プリントなどの提出物は、必ず期日を守りましょう。
　②表現活動は積極的に取り組み、発言も進んでするようにしましょう。
　③筆記用具はパート練習などの時も持っていき、授業中に受けたアドバイスは楽譜に書き込みましょう。
家庭学習のアドバイス
　②　提出物などは丁寧に仕上げましょう。
　②合唱曲は、インターネットなどで聴けるものも多くあります。苦手な部分などは何度も聴いて練習してみましょう。
その他

①Ａ４サイズが入る手提げバッグを用意してください。教科書、ファイル、コーラスフェスティバル、クリップボードなどを入れたまま教室に置いておいてかまいません。
②器楽の教科書とコーラスフェスティバル、クリップボード、ファイルは３年間使用します。名前を油性マーカーで書いて、丁寧に扱いましょう。消えてしまったら、書き直してください。

令和８年度　　第２学年　　音楽科　シラバス

教科目標

（１）音楽の曲想と構造や背景などとの関わりや多様性を理解する。音楽表現では、創意工夫するために必要な技能を身に付ける。
（２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫すること、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（３）自ら進んで活動し、他と協力しながら（主体的・協働的に）取り組む。音楽活動の楽しさを体験し音楽文化に親しむ。

評価の観点及び趣旨

①　知識・技能	②　思考・判断・表現	③　主体的に学習に取り組む態度
・音楽の曲想と構造や背景、多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現している。	・音楽の要素やその関連性、働きを感じ取っている。 ・感じ取ったことをどのように表すか、思いや意図をもっている。 ・音楽のよさ、美しさを自分なりに評価しながら味わったり、聴いたりしている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
４ ５	○曲想と構成を感じ取って表現を工夫しよう。（翼をください・夢の世界を）【5】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。 ②音色、旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト 実技テスト ワークシート 授業観察
５	○情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう（夏の思い出）【2】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。 ②音色、旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート
６	○曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう （交響曲第5番　ハ短調）【2】	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ②旋律、構造、構成を知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③曲想と音楽との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト ワークシート
７ ９	○曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、表現を工夫しよう。 （混声3部合唱曲）【１１】 ※合唱コンクールにむけて	①混声合唱の響きを感じ取り、各パートの役割を理解する。 ②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	定期テスト ワークシート 実技テスト 授業観察
１０	○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう。	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ②旋律、テクスチュアを知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	定期テスト ワークシート

	（フーガト短調）　【2】	③曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的協働的に取り組もうとしている。	授業観察
	○歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう。（「勧進帳」）【2】	①音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術都の関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート 授業観察
		②音色、リズム、速度、を知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		③背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
11 12	○歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう （荒城の月）【2】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。	定期テスト 実技テスト ワークシート 授業観察
		②音色、旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
1	○オペラに親しみ、その魅力を味わおう。〈「アイーダ」〉【2】	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	定期テスト 授業観察
		②旋律、テクスチュアを知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		③曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的協働的に取り組もうとしている。	
2	○音の特徴や重なり方、構成を工夫してリズムアンサンブルをつくろう（創作）【2】	①リズムと曲想の関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート 授業観察
		②音色、リズム、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想とリズムとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
3	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう （卒業式歌　合唱曲）【3】	①混声合唱の響きを感じ取り、各パートの役割を理解する。	定期テスト ワークシート 授業観察
		②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている	

定期テスト範囲（予定）

１学期期末テスト	２学期中間テスト	２学期期末テスト	学年末テスト
・「翼をください」「夢の世界を」 ・「夏の思い出」 ・音楽鑑賞教室の曲について ・「交響曲第５番ハ短調」 ・楽典		・合唱曲 ・フーガト短調 ・歌舞伎「勧進帳」 ・楽典	・荒城の月 ・オペラ「アイーダ」 ・リズムアンサンブル ・楽典

学習上のアドバイス

授業について
　①プリントなどの提出物は、必ず期日を守りましょう。
　②表現活動は積極的に取り組み、発言も進んでするようにしましょう。
　③筆記用具はパート練習などの時も持っていき、授業中に受けたアドバイスは楽譜に書き込みましょう。
家庭学習のアドバイス
　①提出物などは丁寧に仕上げましょう。
　②合唱曲は、インターネットなどで聴けるものも多くあります。苦手な部分などは何度も聴いて練習してみましょう。
その他

①Ａ４サイズが入る手提げバッグを用意してください。教科書、ファイル、コーラスフェスティバル、クリップボードなどを入れたまま教室に置いておいてかまいません。
②器楽の教科書とコーラスフェスティバル、クリップボード、ファイルは２年間使用します。名前を油性マーカーで書いて、丁寧に扱いましょう。消えてしまったら、書き直してください。

令和８年度　　第３学年　　音楽科　シラバス

教科目標

（１）音楽の曲想と構造や背景などとの関わりや多様性を理解する。音楽表現では、創意工夫するために必要な技能を身に付ける。
（２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫すること、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（３）自ら進んで活動し、他と協力しながら（主体的・協働的に）取り組む。音楽活動の楽しさを体験し音楽文化に親しむ。

評価の観点及び趣旨

①　知識・技能	②　思考・判断・表現	③　主体的に学習に取り組む態度
・音楽の曲想と構造や背景、多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現している。	・音楽の要素やその関連性、働きを感じ取っている。 ・感じ取ったことをどのように表すか、思いや意図をもっている。 ・音楽のよさ、美しさを自分なりに評価しながら味わったり、聴いたりしている。	・音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
４ ５	○日本の歌のよさや美しさを理解して歌唱表現を工夫しよう。（「花」）　【3】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。	定期テスト 実技テスト 小テスト 授業観察
		②旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
５ ６	○声が響きあう美しさを感じながら合唱しよう（ふるさと（アカペラ））【3】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。	定期テスト 実技テスト
		②旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
６ ７	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。（「ブルタバ」）【3】	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート
		②旋律、構造、構成を知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		③曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
７ ９	○全体の響きや各声部の役割を生かして歌唱表現を工夫しよう。（合唱曲）【１１】	①全体の響きや各声部の声を聴きながら他者合わせて歌う技能を身に付け、歌唱表現している。	定期テスト ワークシート 実技テスト 授業観察
		②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
	○ポピュラー音楽の特徴を理解し	①音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術都の関わりについて理解している。	定期テスト

１０	て、その魅力を味わおう。 （ジャンル、社会の中の音楽） 【3】	②知覚し、感じ取ったことと関連させながら、社会における音楽の意味や役割について考えている。	ワークシート 授業観察
		③音楽の特徴と背景となる文化や歴史に関心をもち、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
	○曲の特徴を感じ取りながら、音楽を味わおう（組曲「展覧会の絵」から）【3】	①音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術都の関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート 授業観察
		②音色、リズム、速度、を知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		③背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
１１ １２	○音楽と社会のつながりを考えながら鑑賞しよう【2】	①音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などについて理解している。演奏に必要な奏法、技能を身に付ける。	ワークシート 授業観察
		②音色、旋律、テクスチュアを知覚し、感じ取り、そのよさや美しさを味わって聴いている。	
		③音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などについて関心を持もち、主体的に活動に取り組もうとしている。	
１ ２ ３	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう （卒業式歌　合唱曲）【7】	①混声合唱の響きを感じ取り、各パートの役割を理解する。	スト ワークシート 授業観察
		②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている	

定期テスト範囲（予定）

１学期期末テスト	２学期中間テスト	２学期期末テスト	学年末テスト
・「花」 ・ふるさと ・「ブルタバ」 ・楽典		・合唱曲 ・ポピュラー音楽 ・展覧会の絵 ・楽典（３年間のまとめ）	なし

学習上のアドバイス

授業について
　①プリントなどの提出物は、必ず期日を守りましょう。
　②表現活動は積極的に取り組み、発言も進んでするようにしましょう。
　③筆記用具はパート練習などの時も持っていき、授業中に受けたアドバイスは楽譜に書き込みましょう。
家庭学習のアドバイス
　①提出物などは丁寧に仕上げましょう。
　②曲は、インターネットなどで聴けるものも多くあります。授業で扱った以外にも色々な音楽を積極的に聴いてみましょう。
その他
　①Ａ４サイズが入る手提げバッグを用意してください。教科書、ファイル、ワーク、などを入れたまま教室に置いておいてかまいません。
　②器楽の教科書とファイルは引き続き使用します。名前を油性マーカーで書いて、丁寧に扱いましょう。消えてしまったら、書き直してください。